



からしだね

2023年1月号
(588号)

キリストの受難 カトリック池田教会

主任： 中村克徳司祭

住所： 〒563-0041 池田市満寿美町9-26

TEL： 072-751-2400 FAX： 072-753-4624

URL(ホームページ)： <http://catholic-ikeda.sakura.ne.jp/church/index.htm>



本号の記事の主題など

巻頭言「新しい年を迎えるにあたって」

中村克徳神父

「あなたの信仰があなたを救った」

赤波江謙一神父の黙想会テーマ

ロザリオサークルに「クラフト部」を設立

主の降誕を祝って歌い、

中村克徳主任司祭の就任を祝う会

みんながうれしい日曜学校のクリスマス会

三年ぶりのクリスマス会(ドレミの会)

みんなの談話室

カンタベリー大聖堂、聖マーチン教会 ほうもん

南アフリカへのカードおよびカンパの送付

宝塚黙想の家からのお知らせ

今月の表紙の絵について

巻頭言

新しい年を迎えるにあたって

中村克徳 神父

池田教会の皆様、主の御降誕と新年おめでとうございます。この三年間わたしたちは新型コロナウイルスへの感染予防を最優先とするべく、不自由な日々を過ごしてきました。とりわけ教会は人が多く集まる場所のため、御ミサの非公開、様々な教会行事や委員会の休止など、その影響は教会全体に及ぶものとなり、現在も以前と同じ体制に戻れたわけではありません。今年もこの状況が継続することを踏まえつつ、神様の特別な計らいに希望を抱いて、皆さんと共に活気ある教会を取り戻すべく働いていきたいと考えています。本年もどうぞよろしくお願いいたします

さて、年の初めにあたって皆様に思い起こしてほしいことがあります。自分が生まれた状況

について振り返ってほしいのです。いつ、どこで、どのような状況で世に生まれてきたかを辿るのは、さほど難しいことではないでしょう。もし写真や映像が残っているなら、それを見返してみることをお勧めします。新たな発見に驚かされるに違いありません。

わたしは北海道の道北地方の小さな町で生まれました。主治医が年末年始の休暇で不在になったため、出産予定日が過ぎても生まれる様子が見られなかったこともあり、母は小さな公営住宅に戻らなければなりません。年が明け、一月二日に私は世に生まれ出ました。取り上げてくださったのはお産婆さんです。幸いなことに、産湯につかる私の姿が白黒の写真に収められていました。小さくてしわくちな顔をした自分の写真を見ると、何とも言えない感覚に包まれてきます。次の写真では、わたしを抱いた父の姿が映っています。わたしは、口をわずかに開けて不思議そうに父を見つめていました。それからは、祖父、祖母、叔父、二人の叔母、お産婆さん、最後に母に抱かれるわたしの写真へと続きます。にっこりと微笑む母に抱かれたわたしの顔は、安堵の表情を浮かべて映っていました。どの写真にも共通しているのは、誰もが満面の笑顔だということです。わたしは周りの人を笑顔にするために生まれてきたのです。わたしだけではなく、すべての人が周囲にいる人々を笑顔にするために誕生したのです。それは、神様が人間をいかに愛しておられるかを示す、最も分かりやすい表現ではないでしょうか。

一年が終わり新しい年へと移り変わるこの季節に主の降誕祭が祝われるのは、神様が与えてくださる大きな恵みの現れだと言ってもいいでしょう。主の降誕を天使たちから真っ先に告げ知らされた羊飼いは、驚きつつも幼子のもとに馳せ参じました。三人の博士たちは、幼子を礼拝するために労をいとわず長い旅路を経てベトレヘムへとやってきました。彼らの顔は、誰もがきつと満面の笑顔であつたに違いないと思うのです。

先の一年がいかに困難な日々の連続であつたとしても、新たな希望が湧きおこってきます。神様が人間の救いのために、愛するひとり子を世に送ってくださったという歴史的な出来事は、二千年前の誕生の時と変わらぬ恵みを、現代に生きるわたしたちにも与えるほど大きなものだからです。この一年を笑顔で迎え、笑顔で終えることができるよう、主に希望と信頼をもって歩んでいきましょう。



「あなたの信仰があなたを救った」

11月27日の黙想会

赤波江謙一神父（聖パウロ修道会）

11月27日に聖パウロ修道会の赤波江謙一神父様をお迎えして待降節黙想会がありました。待降節の最初の日には神父様のお話をうかがうことができ待降節を大切に過ごすことの準備ができたと感じます。黙想会は、コロナ前の従来の形式にもどりミサの中で第一講話、ミサ後に第二講話をうかがいました。

第一講話

今日の福音（マタイ24/37～44）に「人の子はくる」という言葉がくりかえしでできます。人の子がくるとは、どういうことなのか.....

これは非日常ではなく日常のことを言っているように思います。日常のこと、それは、善を行うこと、キリストを証しすること、十字架をになうことと置き換えた方がいいかもしれません。善をおこなう機会とは喜びを伝えるとき.....キリストのよろこび、平和、ぬくもり、息づかいをつたえることで、機会はたくさんあるけれどいつくるかわかりません。

キリストを証しすることはキリスト者のつとめです。わたしたちは、キリストを証ししないで自分の証しをしたいとおもい自分の証しをしています。自分の存在を知らしめ自分の考えをおしつけようとしています。自分の証しをしたいという気持ちを放棄することによってめぐみとしてキリストの証しをすることができるようになります。

十字架をになうとはどういうことか.....十字架のイメージは、苦しみ、苦痛、できたら逃れたいと思います。しかし十字架の苦は、苦しみの苦だけではなく苦勞を引き受ける意味もあります。苦勞の勞は、ねぎらう、いたわるの意味があります。ご苦勞様ということばには感謝のおもいがふくまれています。共同体で自ら苦勞をひきうける....これが十字架をになうことです。聖書には十字架を礼拝しなさい、感謝しなさいとは書いてありません。十字架を背負ってついてきなさいとあります。

自分のこと自分の望み、欲望にとらわれていると自分自身でいっぱいになってまわりがみえなくなります。

今日の聖パウロの言葉（ローマ13・11～14）のように目を覚ましていなければわたした

ちの助けを必要としている人がいるのに気づかないかもしれません。聖パウロは品位をもって歩もうではありませんかと言っています。キリスト者としての品位です。イエスキリストを身にまといなさいとも言っています。何かにおぼれてしまうとまわりが見えなくなってしまうのです。そういうことから目を覚ましキリストのよろこび、平和、ぬくもりを伝えるのです。神の助け、聖霊をもとめましょう。

聖霊の働きによってキリストを証しすることができるのです。

第二講話

今日の黙想会のテーマは、「あなたの信仰があなたを救った」です。

ルカ書には、4回この言葉がでてきます。ひとつは、イエスの足元に涙と香油を塗った罪深い女の話、二つ目は出血症で苦しんだ女の話、三番目は十人の重い皮膚病の人を癒してひとりだけもどってきて感謝した人の話、四番目は生まれつき目の見えない人の話。

このひとたちに、キリストは「あなたの信仰があなたを救った」といわれました。今日は、この四番目の話をとりあげたいと思います。

「あなたの信仰があなたを救った」といわれるけど盲人の何が信仰だったのか。彼



は、律法を守るまじめなユダヤ人ではなかったでしょう。異邦人あるいは異教徒だったかもしれません。

ルカ18章のやもめと裁判官のはなしをみましょう。最初にこう書いてあります。「気をおとさずに絶えずいのらなければならぬことを教えるために」と書いてあります。そして「まして神は、昼も夜も叫び求めている選ばれた人たちのために裁きを行わずに、彼らをほうっておかれることがあるか。」と書かれています。神は何をさばいてくださるのでしょうか。それは、わたしをたえず苦しめているもの、悪霊ではないのでしょうか。悪霊は、わたしたちの中にいてわたしたちを誘惑します。わたしたちの弱みにつけこみます。誘惑のはなしは、創世記と新約にあります。創世記3章にへびの誘惑のはなしがあります。アダムは誘惑に負けて禁じられていた木の果実をたべます。アダムはすぐにあやまつたらひよつとしたらゆるされたかもしれませんが誘惑に負けただけではなく人のせいにして自分を正当化したのです。エバも同じです。

新約（マタイ、マルコ、ルカ）では、イエスが誘惑に会った話を書いてあります。マタイ福音書にイエスが悪魔から誘惑を受ける話があります。神の子なら石をパンにかえるように、そして神殿の上から飛び降りるように、最後はひれ伏して悪魔を拜むように誘惑を受けます。イエスでさえ誘惑にあったのです。イエスさまにも神の子ならという人間としての弱みがあったのではないのでしょうか。イエスは完全に退けられました。

イエスさまにも弱みがあったのだからわたしたちにはないはずがありません。私のことを証ししたいという誘惑です。自分の証しをするために自分の考えを押し付け、人の考えに耳をかたむけようとしません。自分を正当な人間であると証しすること....これを誘惑とは感じないのです。だれにでもある弱さ、かたむきなのです。自分の証しをしたい.....悪霊の働きなのです。先ほどのルカ書の箇所最後に「人の子が来る時、果たして地上に信仰をみいだすだろうか。」とあります。信仰とは何でしょう



か。イエスは答えをだしていません。人間の世界、次元のはなしではありません。神秘の世界のはなしです。わたしの力をこえた世界です。ゆるしの秘跡で、人間的な限界、どうしたら

いいのかわからないと感じます。自分の力をこえた方、聖霊に祈ってください。盲人は「イエス、わたしをあわれんでください」と必死に叫びました。神を信じるだけが信仰ではありません。神の力を信じるのが信仰です。神が望んでおられることは失望せずに絶えず祈ることです。

自分の証しを中心になると心の平和をなくし祈らなくなります。悪霊の思うツボです。ヨハネ5:31に「もし、わたしが自分自身について証しするなら、その証しは真実ではない。わたしについて証しをなさるかたは別におられる。」別のかた、それは聖霊です。イエス様でさえ自分のあかしをしたという誘惑があったのです。

自分を証ししたいとき、人を傷つけることなどおかまいなしになることがあります。わたしをこえたかたに頼るしかない、聖霊に祈るのです。聖霊来てくださいと祈りましょう。キリストからはなれたら自分教になってしまいます。自分を証しすることやめてキリストをあかしするのは、キリストのよろこび、微笑み、ぬくもり、愛を伝えるのです。

赤波江謙一神父様による第二講話の全音声（67分）は研修委員によって記録され、CDディスクに収録されています。カール記念館一階ホールのトレイ・ボックスに収納されていますから、CDディスクを貸出してCD再生機またはPCで全音声を聞くことができます。

池田ロザリオサークルに「クラフト部」を設立しました

「池田ロザリオサークル」*を立ち上げてこの待降節で三年目に突入しました。嬉しいことに少しずつ集まる方が増えてきたので「クラフト部」を立ち上げることをサークル内で検討し、先日12月度の評議会で使用場所も含めて承認を頂きました。神に感謝!

「クラフト部」ではオンラインではなく、実際に集まって「クラフト(手芸)」をします。そのため使用場所はカール記念館一階応接室をお借りします。

クラフトの内容は分野を問いません。「アイロン圧着で終わり」(約5分で完了)もクラフト!

当面は「キリスト教、カトリックにまつわるグッズ縛り」(今後ご要望で変化あり)。

例えば「カリグラフィーでイースターカード」、「一連ロザリオのプレスレット」、「十字架やおメダイ付きの携帯ストラップ」、など作っていきたいと思います。

レザークラフトも今や100均一で道具や本革自体もそろそろ時代。挑戦したいと思います。

クラフト部では基本的に“100均素材を最大限に利用して、お安く、手早く簡単に作る”に重視を置いております。つまり“単回、ないし2回くらい、それぞれ30分~1時間くらいで作り上げる事ができる物”がメインになります。

もちろんどなたでも大歓迎! 「池田ロザリオサークル」に所属している必要はありません!

以下2022年12月15日時点で決まっていることを簡潔に載せます。

◆日時 第三水曜日 13時から14時30分まで(その後片づけ)。

この時間内であれば作り方だけ聞いてお帰りいただいても大丈夫です。

単回参加型です。(複数回あり)。

◆場所 カール記念館一階 応接室。

◆費用

・参加費 300円/回。

集まった参加費はすべて堂内献金となります。そのため「作り方等だけ聞いて、材料もらって帰宅」される場合も是非参加費のご協力をお願いします。

・材料費 実費分は自己負担は10円から500円くらい。

!!特に「編み物」「縫物」「刺繍」などを指導してくださる方大募集です!!

(立ち上げ人にとってこの分野は完全な“鬼門”なため。ミシンご用意あります)。

今月は第三水曜日、1月18日の午後開催します。材料の問題があるのでできるだけ当日朝までご予約下さい。(宇山まで)皆様のお越しを心よりお待ちしております。＼(^▽^)/

※ 「池田ロザリオサークル」とは日曜日の夜9時からオンラインチャットでロザリオを一環祈るサークルです。こちら是非ご参加ください。詳しくはマイヤーさんか宇山まで。



主の降誕を祝って歌い、中村克徳主任司祭の就任を祝う会

今年は主の降誕の祝日が日曜日にあたった。中村神父様を主任司祭に迎えて祝う最初のクリスマスである。中村神父様が朗々としたお声でミサの司式をされ、聖歌隊がマスクをしたままとはいえ、ひさしぶりにクリスマスの讚美歌を次々と力強く歌った。世界には戦火や圧政に苦しむ人々が数えきれないほどいる中で、主の恵みにあふれたミサとなった。

ミサ後に開かれた会なのにボトルのお茶とジュースだけとあって、コロナ禍の消滅を願いながら、まずは、コール・セシリア合唱隊のクリスマスソングで蓋を開けた。中年女性(?)メンバーたちが楽しそうに歌い、聴いている者の手拍子を誘った。そのお返しに中村神父様が、自分は歌がうまくないので、と言いつつ、典礼聖歌371番をラテン語で歌われた。その次は4人の子供たちが中村神父様への8個の質問票を持って現れたが、予期せぬ質問に考えながら答えられた。(下表を参照)。

最後に花束贈呈があり、これからもよろしくご指導ください、と挨拶して拍手のうちに閉会となった。



小中高生からの質問	中村神父様による即答
好きな動物は？	犬かな？子供の頃にスピッツの雑種を飼っていましたが、かわいそうなことに一度も散歩に連れて行ってあげませんでした。
されていたクラブ活動は？	運動不足解消のため、高校生の時にバドミントン部に入りました。
郷里北海道はどんなところ？	稚内市の近く、人より牛の数のほうが多い町で生まれました。食べ物、特に海産物が美味しいです。良い温泉もたくさんあります。
食べ物の好き・嫌いは？	瓜系のキュウリやメロン、それとウニは苦手です。大阪のお好み焼きは美味しくて、幾ら食べても飽きることはありません。
子ども時の将来の夢は？	特に夢は持っていませんでした。若い人にはぜひ将来への夢を抱いて歩んでほしいと願っています。
大阪のエエトコは？	人が好いことと、食べ物が美味しいところでしょうか。
好きな関西弁は？	「おおきに」
これから行きたいところは？	イタリア、フランス、スペインなど、キリスト教の歴史がある国を訪れてみたいです。

みんなが嬉しい日曜学校のクリスマス会

青少年育成委員会

クリスマスを一週間後に控えた12月18日、少し早めのお祝いになりますが、日曜学校のクリスマス会を開催しました。

コロナ禍で様々な行事が中止となり、クリスマス会も実に3年ぶりになります。今回は参加する子どもも少ないだろうということで、劇などの子どもによる出し物は行わず、クリスマスのお話しのスライド上映や、ゲームなどの遊び中心のお楽しみ会としました。

集まってくれたのは小学生から高校生までの10人。青年リーダーの参加もあり、久しぶりに池田教会の子どもたちが学年を越えて楽しく交わる姿を見ることができたのは嬉しいことでした。（恒例のサンタクロースの登場もありました！）

この3年で日曜学校に来る子どもたちはとても少なくなっています。かつての池田教会のように子どもたちの姿が沢山見られるよう、これからも少しずつ活動を再開していきたいと思います。皆さんの参加をお待ちしています。



三博士からイエスさまに
プレゼントが届く。



じゃんけん勝ち抜き戦の勝者は？



リーダーの合図で機敏に動けるかな？



ペアの2人が合図で同じジェスチャーを出せるかな？

ジングルベル
斉唱



サンタさん
から
プレゼント



三年ぶりの「ドレミの会」のクリスマス会

11月12日(土)2年8か月振りに、ドレミの会が再開されました。再開する前「コロナをきっかけに、もう止めよう??」と言う心細い気持ちになっていましたが、背中を押してくれたのは、スタッフとそして家族の応援、「先生いつから始まるのですか?」と言う会員のメールでした。

「やっぱり、皆に会いたい!」という気持ちも強くなり、神に信頼して11月から再開しました。心配することもなく、続々とみんな集まってきました。その笑顔の嬉しそうなこと!皆やはり再開を待っていたのです。

そして12月10日、皆の楽しみにしていた「クリスマス会」を開くことができました。彼らの気持ちにいつも寄り添ってくれるスタッフ、時間を割いて楽しい場を提供して下さる、ゲストの皆さん。人形劇、大西さんの素晴らしいギター演奏、彼らを巻き込んでくれる、タップダンスのみなさん、総勢60名の方が集まり楽しい時間を過ごしました。最後に登場したサンタクロースのプレゼントは教会の皆さんが寄付して下さった暖かな品々でいっぱいです。

みんな名前を呼ばれるのをどきどきして待っていました。

タップダンスの山田先生、太田先生は、28年の間ドレミの会へ、ダンス指導者として無償で来てくださっています。ある会員はタップシューズも買い、梅田で行われたダンスフェスティバルのステージに立たせて頂きました。どんなに誇らしかったでしょう。彼らは臆せず堂々と大勢の人たちの前で踊っていました。お二人の先生のお陰です。それを、きっかけにそこに出演していた、インド舞踊のプロの方など「ドレミの会」のゲストとして、来て下さるようになりました。

池田教会の大西さんのご主人はギターリストです。お願いすると、いつも快く演奏をしに来て下さいます。時には9人の演奏者を連れてきて下さり、大合奏を聞かせて下さったこともあります。

毎年来て下さる「民謡サークルどっこい」の皆さんは、ふとしたきっかけでつながりが出来、沢山の三味線の方を引き連れ、チンドン屋のかっこうなどして笑わせながら、毎年きてくださるようになりました。池田の「社会人落語」のバック音楽をするような、実力のグループですが「ドレミの会で、演奏するのは楽しい!」と時間を空けてくださいます。みなさん、ボランティア承知で来て下さるのです。

思いがけないつながりが出来るたびに、私はそこに、神の計らいを感じるのです。私は、普通の演奏会になかなか行けない彼らに良いものを、本物の演奏を見る機会をつくりたいと心掛けています。彼らはうまく話せなくても、表現が下手でも、相手の方の心を感じる力があります。よいものには、笑顔で反応します。

「ドレミの会」を再開した時保護者の皆さんからは「先生、再開してくださって、ありがとうございます!」と感謝の言葉ばかりでした。教会の皆様、ゲストに来て下さる方々の優しさの中で「ドレミの会」は続けていけるのです。

生まれてから今までの家族と彼らの人生、これから生きていく人生を思いますと、ささやかな集いですが、できる限り応援していきたいと思えます。

皆さま本当にありがとうございました。これからも暖かな目で見守ってください。よろしく願いいたします。

ドレミの会 むらしま のぶこ

みんなの談話室

カンタベリー大聖堂、聖マーチン教会 ほうもん 直

英語圏で最古の教会こそ、イギリス・ケント州はカンタベリーにある「聖マーチン教会」なんだとか。この教会の起源はどうもローマ帝国の時代、つまり今の「イギリス」なんか影も形もなかった時代にさかのぼるらしい。紀元597年、聖アウグスティヌス（ローマの哲学者、聖アウグスチヌスとは別人）がアングロ・サクソン人への布教基地としてもちいたという。（見てきたわけじゃなく、下にある教会構内の立て看板の説明をうのみしてただけですので、悪しからず）



聖マーチン教会はいまも活きている。現在はイギリス国教会所属だが、司祭がいて礼拝式や日常活動もふつうにおこなわれている。わたしが訪れたときは入り口付近が工事中で一時閉鎖、おかげで内部見学はかなわなかった。残念。側面窓から中をのぞくと、こじんまりとしている。聖堂の広さは池田の1/3くらいだろうか。百人は入れないかもしれない。でも1400年のあいだ、教会として生きつづけてきたと考えると、その時間の重



みに圧倒される。教会墓地には16, 7世紀の墓石がゴロゴロ。家康様の時代よ！

聖マーチン教会はカンタベリー大聖堂、聖アウグスチヌス修道院遺跡とともに世界遺産の一部となっている。三つは歩いて10分以内の円のなかにおさまる。聖マーチン教会が小さくて簡素、いかにも、イギリスでの布教開始当時のキリスト教がもった初々しさを感じさせるとすると、壮大雄勁なカンタベリー大聖堂は中世キリスト教が世俗権力にたいしてもった、雄々しさと同時に華麗さでも見るものを圧倒する。

この大聖堂、なんといってもトマス・ベケットの殺害事件で有名。1170年12月、司教の任命権をめぐる時のイギリス王と衝突したベケットは、王の怒りをもって聖堂内で暗殺された。以後、庶民の守護聖人としてあがめられ、ひとびとの「カンタベリー詣で」がはじまる。聖堂内にはじっさいの暗殺場所（最古）、次にかれの亡骸が移された場所、そのあとヘンリー八世のイギリス国教会創設によって徹底的に破壊されたとされるベケットの「御霊屋」のあとを紹介する札が立っていた。かれの遺骨はいま行方不明（ガイドのおばさんの説明）なのだから・・・春になってカンタベリー詣でにでかける巡礼たち



(前ページから続く)

が旅の途上、交代で語った「おはなし」を中世英語でしたためたチョーサーの『カンタベリー物語』がおもしろい。世俗的で卑猥な話しが次々と登場、「名作」らしからぬ抱腹絶倒を誘うぞ！

初代カンタベリー大司教聖アウグスチヌス修道院遺跡はしまっていて、残念ながら外壁の隙間からしか見られなかった。だが、異教徒の支配したイギリスがヨーロッパ屈指のキリスト教国へと発展していったその過程を感じさせるカンタベリーの町に、「世界遺産」の名は確かにふさわしいようだ。

南アフリカへのカードおよびカンパの送付 久保昌子

南アフリカの子どもたちのために作ってくださったクリスマスカードを、お菓子と一緒に、南アフリカへ送らせていただきました。コロナもあって、なかなか呼びかけができませんでしたが、それでも素敵なカードをたくさんの方々が作ってくださいました。郵便事情が悪く、届かずに返ってきた年もありましたが、今年は無事に南アフリカの子どもたちのもとへ届くよう祈っています。ご協力、本当にありがとうございます。

カードを集めている期間に呼びかけたカンパにも、本当に多くの方々が応えてくださいました。そのお金を先日、南アフリカに送金しました。先日、施設のマネージャーの方から無事届いたとの連絡がありました。施設に暮らす小さい子どもたちの衛生用品やおむつを買わせてもらうとのことです。この寄付が、体が弱くて感染の危険の高い子どもたちの生きる環境をよくする力になるとのことで、くれぐれもお礼の気持ちを伝えてほしいとのことでした。

依然として、子どもたちの暮らす施設セント・フランシス・ケアセンターは、厳しい運営状況が続いているそうです。それでもこのカンパやカードは、厳しい状況で懸命に生きる彼らに、勇気と希望を与えるものになると信じています。

ご支援とご協力、本当にありがとうございます。これからも、南アフリカの子どもたち、そしてエイズと闘う方々のためにお祈りください。

クリスマスカード送付 支出報告

郵送料	13,830円
お菓子代	1,026円
合計額	14,856円

皆様から頂きましたカンパ46,361円は、荷物発送時に送金させていただきました。

皆様の南アフリカへのお祈り、改めて心より感謝いたします。今後も、南アフリカの子どもたち、そしてエイズに苦しむ人々のためにお祈りください。

セント・フランシス・ケア・センターからのお礼状 2022年12月12日

昌子さま

セント・フランシス・ケア・センターの理事と患者の代表として、4717ランドと44セントのご寄付を受けたことに、深く感謝いたします。正式な領収書を同封いたしました。

このご寄付はここレインボー・コテージに住む子供たちのために必要に応じて使わせていただきます。現在は、赤ちゃんから6歳までの子供たち36人をここに収容して育てています。その子供たちの全員が健康に育つのが難しいような環境にありました。わたしたちは赤ちゃんのために、ミルクやおむつ、おしりふきなどを買うつもりです。そしてこの子供たちこそがよりよい未来を作ってくれるように思えます！

あなたがたの支援は、かわいい子供たちの生活に間違いなく大きな違いをもたらしますし、ほんとうに助かります。あなたがたの寛大なご支援、黙って子供たちを援助してくださることに、もう一度お礼を申します。ありがとうございます！

あなたと支援者の方々に喜びと祝福に満ちた平和なクリスマスが訪れますように！

所長 ティリー・ブラウワー

宝塚黙想の家からのお知らせ

- 日帰り黙想会 10:00~15:30
1月10日(火) 指導: 稲葉 善章 神父
1月26日(木) 指導: 染野 治雄 神父
1月27日(金) 指導: 山内 十束 神父
- 一泊黙想会
1月10日(火)17:00~11日(水) 15:30
指導: 稲葉 善章 神父
1月20日(金) 17:00~21日(土) 15:30
指導: 染野 治雄 神父
- カトリック教会のカテキズム
1月11日(水) 10:00 ~ 12:00
1月25日(水) 10:00 ~ 12:00
指導: 染野 治雄 神父
- 聖地エルサレムを学ぶ
1月19日(木) 10:00~12:00
指導: 笹田六合豊 修道士
- グリシャ語で味わう聖書のことば
1月17日(火) 10:00~12:00
指導: 稲葉 善章 神父
- 聖書の基本
1月 4日(水) 10:00 ~ 12:00
1月18日(水) 10:00 ~ 12:00
指導: 山内 十束 神父

上記の各黙想会、費用等のお問い合わせは「宝塚黙想の家」まで。☎ 0797 (84) 3111



上のカットの説明

北摂の豊能郡能勢町野間の大けやきは樹齢1000年とされ、西日本第一の大きさ(高さ&幅が共に36m)を持ち、国の天然記念物に指定されている。能勢妙見山の西の扇状地にあるので近くには河川や小さな水路が走り樹齢を感じさせない。11月中旬に撮影。

今月の表紙の絵について

1月8日は主の公現の祝日である。この祝日はもともとは東方教会の祭りで、イエスの洗礼を記念するものだったが、4世紀ごろに西方教会へ伝わり、幼子イエスを東方の占星術の学者たち3人が訪れて礼拝したことを喜び伝えるのが中心となった。異邦人に至るまで主イエスの誕生が示されたことを祝う日である。

この作品はスペインのセビリア派の巨匠、バルトロメ・エステバン・ムーリョ(1617~1682)が1655~1660年に描いた油彩画である。権力を示すローブをまとった博士が跪いて礼拝する先には、つつまじやかな聖母マリアのお顔と幼子イエスが明るく浮かび上がり、劇的な効果を上げている。

現在この作品は北米のオハイオ州にあるトレド美術館に収蔵されている。

編集後記

池田の介護保険課からアンケートが届いた。高齢者がどのような支援を必要としているか、今の支援体制をどのように改善すべきかを調べるためである。微に入り細にわたって、個人の日常生活に対する質問が列挙されていた。その質問に答えるうちに、自分の現在の暮らしが浮き彫りになってくる。生きがいがありますか、とたずねられる。生きがい? 生きがいと言われると、それは家族でも趣味でも教会活動でもない。仕事はとっくにリタイアした。福音を伝える、という境地には至っていない。それでも神のもとで生きるのがわたしの生き方だ、と改めて思った。

ソフィー